

「がんばろう、なとり」 - 特別号 -

名取市図書館の その後

2011.5.11

～ 名取市図書館から、うれしいニュース ～

「5.10、臨時開館スタートしました！」

名取市図書館の職員の皆さんを始め、ボランティアの方々が力を合わせ、何とか図書館を開館するために、準備を進めていらっしゃいました。

そして、昨日、5月10日(火)の午前10時、臨時開館がスタート。

待ち侘びていた多くの市民が訪れ、大賑わいだった！！とのニュースが届きました。

「おかげさまで開館しました」 名取市図書館長からのメッセージ

この度の震災で、いち早く名取市図書館へのご支援をいただき深く感謝いたします。

当図書館は、津波の被害はなかったものの、建物も古く、多大な被害を受け、どう手を付けたらよいか、また、再開などとても考えられない状況で、今後の対応に苦慮していたところでした。

そのような状況の中、石狩市から支援の相談があり、大変うれしく思いお受けいたしました。支援内容はこれまでの「がんばろう、なとり」(石狩市が作成の名取市支援活動報告)で紹介いただいたとおり、当図書館ばかりでなく、各避難所、学校、保育所にまで支援をいただくという大変手厚いものでした。

その手助けがあって、おかげ様で5/10(火)に開館することができました。開館期間や時間、内容等は限定しておりますが、今できることから一步步進めていきたいと思っております。

今回の支援、応援いただいた石狩市の皆様に心より感謝申し上げます。

また、これをきっかけに、これからも交流をしていければと願っております。

【4時間だけの開館・・・でも、大きな一歩】

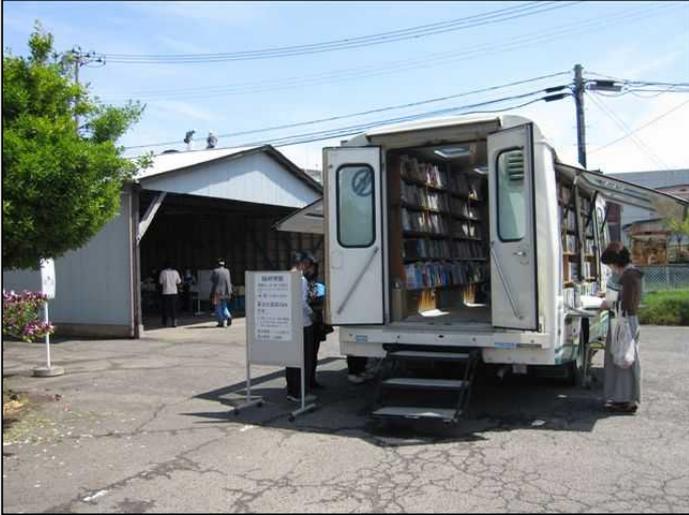
最高気温25度、快晴。天気も味方してくれたようです。

図書館本体の建物は危険なため、移動図書館車「なかよし号」と離れの書庫を使い、利用は火・木・土の午前10時から午後2時までという制限はありますが、多くの市民が訪れ、貸出しは371冊(106人)、返却は574冊(181人)があり、大賑わいの一日となりました。決して十分な環境ではありませんが、被害の状況を考えると、よくここまで準備できたと思っております。まさに新たな一歩、大きな一歩です。



絵本を前に親子の足取りも嬉しそう

「移動図書館車」と「離れの書庫」、そして「車庫」も活用！



「思い起こせば・・・」

臨時開館で活用することになった「離れの書庫」。一ヶ月前は、本の片付けも、今後の活用策も模索中でした。今は貸出用の本が、きれいに並んでいます。



離れの書庫（臨時開館の貸出書庫として活用）



一ヶ月前は、足の踏み場もなかった状態



以前に入っていた本は、基本的には一度、外に出して、貸出用に人気のある本などを新たに入れ替えた

「広がる図書館応援団！」 震災から生まれたボランティアの輪

臨時開館初日には、地元のボランティア「おはなしキラキラの会」が、貸出し業務の外、清掃なども積極的に協力してくれたそうです。

ボランティアの方々からは、「震災により図書館が休館になったことで、ここが自分達の活動拠点だったんだ、という思いを改めて感じた。そして、これからも積極的に図書館に関わっていきたい」というような声や、また、一般利用者からも「名取のために、図書館のために何かをしたい！」などの声をいただいているそうです。



貸出し業務などを手伝うボランティアの方々